

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	浅沼 俊明
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3529
事務事業名	13322 多世帯同居・近居支援事業											
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課											
施 策	07024300 地域資源をいかした移住定住の促進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	080501 土木費・住宅費・住宅管理費										
	事業	050000 多世帯同居・近居支援事業										
事業目的						事業概要・効果						
高齢社会に対応したバリアフリー化、子育て世帯の定住促進のための居住環境の整備を推進する。						多世帯同居リフォームや多世帯近居住宅取得に対し、補助を行う。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
	同居・住宅改修 1件 近居・住宅購入 1件 同居・住宅建築 2件
平成29年度 予定	平成30年度 予定
10件	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		2,000	5,002
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,000	5,002
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		2,000.0	5,002.0

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,000	多世帯同居・近居のための住宅改修・住宅取得費補助 @500,000円×4件
その他	0	

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	5,000	多世帯同居・近居のための住宅改修・住宅取得費補助 @500,000円×10件
その他	2	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	子育て支援と高齢者が安心して暮らせる環境づくりと本市への定住の促進のため必要な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	本市への移住促進のため有効な事業である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	市内に基本世帯があり、市外から転入して多世帯となるための対象者に情報が届きにくい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

多世帯となるため他市町村から転入、地元事業者による住宅改修・住宅取得という条件に合わず対象外となるケースがある。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

移住促進を進める上で、継続的に進める必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

多世帯同居リフォームや多世帯近居住宅取得に対し、補助を行い、移住促進を継続的に進めていく。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--